

ルービンシュタイン国際ピアノ・コンクール優勝、
昨年のショパン国際ピアノ・コンクールの演奏も大反響!

シモン・ネーリング

ピアノ・リサイタル

Simon Nehring

2022.8/8(月) 19:00開演(18:15開場)
渋谷区文化総合センター大和田
さくらホール

全席指定 S¥4,900 / A¥4,500(税込)

〈チケット取扱い〉

オフィス諷雅 <https://www.officefuga.jp/>

03-5778-5288(平日のみ9:30~17:30)

チケットぴあ <http://t.pia.jp> [Pコード:214-054]

イープラス <https://eplus.jp/>

ローソンチケット <https://l-tike.com/>

ローソン・ミニストップ店頭Loppi [Lコード:34469]

一般発売

3/26(土)

Program

シマノフスキ:

20のマズルカ op.50より

プロコフィエフ:

ピアノ・ソナタ第6番「戦争ソナタ」イ長調 op.82

ショパン:

夜想曲第16番 変ホ長調 op.55-2

幻想ポロネーズ 変イ長調 op.61

マズルカ 第33番、34番、35番 op.56

アンダンテ・スピアナートと
華麗なる大ポロネーズ 変ホ長調 op.22

期待のシモン・ネーリング、来日公演に寄せて

音楽ライター：高坂はる香

2021年秋に開催され、日本人ピアニストたちの入賞により注目を集めた、第18回ショパン国際ピアノコンクール。その大会に、地元ポーランドの有望株として大きな期待を背負いながら参加していたのが、古都クラクフ生まれの26歳、シモン・ネーリングだ。

前回2015年、20歳で参加した同コンクールでファイナリストとなり、その2年後には、イスラエルのルービンシュタイン国際ピアノコンクールで優勝。すでにピアノファンの間では知られた存在だった。

今回のショパン国際ピアノコンクールでは、実力が伯仲するなかでファイナル進出は逃したものの、作曲家の心に静かに寄り添うような演奏が、ノーブルなショパンを求める多くの聴衆から賞賛された。

今度のリサイタルは、近代ポーランドの作曲家、シマノフスキのマズルカOp.50で幕を開ける。ポーランド人ピアニストとしての自負を示すようなこの選曲で、どんな音楽を聴かせてくれるのだろうか。そしてその同時代のロシアに生きたプロコフィエフのピアノ・ソナタ第6番「戦争ソナタ」。両作品の対比も興味深い。

後半はショパンから、コンクールでも演奏したレパートリーが披露される。繊細なタッチで奏でる「幻想ポロネーズ」、深く内省的なマズルカOp.56、一変、ポーランドの誇りを表現するような華やぎに満ちた「アンダンテ・スピアナートと華麗なるポロネーズ」と、多彩なショパン作品が並ぶ。ネーリングならではの、自分の言葉で語るような音楽に期待したい。

先のコンクールの演奏を配信で聴いた方も多いかもかもしれないが、リサイタルでは、プレッシャーから解放されてまた違った一面を見せてくれることだろう。5年ぶりの来日リサイタル。進歩し続ける気鋭の音楽を、今、コンサートホールで体験しておこう。



profile

シモン・ネーリング Szymon Nehring

シモン・ネーリングはポーランドの若い世代の最も才能のある、将来を約束されたピアニストのひとりである。2017年世界で最も重要なピアノコンクールのひとつである、アルトゥール・ルービンシュタイン国際ピアノコンクール(テル・アビブ)で優勝。2017-2019シーズンは、イェール大学音楽院にてボリス・ベルマンの元で学ぶ。2015年、クリスチャン・ツィメルマン奨学金を授与される。第17回ショパン国際ピアノコンクールに出場。ファイナリストとなり、聴衆賞のほか、数々の賞を受賞。2016年、ポーランド人作曲家の作品を収めたデビューCDが、ポーランド・フォノグラフィック・アカデミーにおいてフレデリック賞を受賞。(ソロ・リサイタル部門)他にも、ユレク・ディバウ、クシシュトフ・ベンデレツキ指揮シンフォニエッタ・クラコヴィアとのショパンの協奏曲、及び作曲家自身の指揮による同オーケストラとのベンデレツキ・ピアノ協奏曲「復活」をリリース。最新の録音は、ピリオド楽器(エラール1858年製)を用いたショパンの作品集を収めたCDである。これまでに、ワルシャワ・フィルハーモニー管弦楽団、カトヴィツェ・ポーランド国立放送交響楽団、NFMヴロツワフ管弦楽団、イスラエル交響楽団、バンベルク交響楽団、マルセイユ・フィルハーモニー管弦楽団、ハートフォード交響楽団、カルガリー交響楽団、18世紀オーケストラなどと共演。イェジー・マクシミウク、ヤツェク・カスプシク、グジェゴシユ・ノヴァック、パブロ・ヘラス・カサド、カリーナ・カネラキス、ジャンカルロ・ゲレーロ、オメル・メリア・ウェルバー、ジョン・アクセルロット、ローレンス・フォスター、デヴィッド・ジンマン、クシシュトフ・ベンデレツキなどと共演を重ねている。ネーリングは、カーネギーホール、エルブフィルハーモニー、ハンブルク、バルセロナ・カタリーニャ音楽堂、コンツェルトハウス・ベルリン、コペンハーゲン・DRコンサートホール、ウィーン学友協会ホール、ミュンヘン・ヘラクレスザール、プリンツレーゲンテン劇場などで演奏を行なっている。2019年、オルフェウム財団に招待され、デヴィッド・ジンマン指揮、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団と共演。2020年にはベルリン・フィルハーモニーホールで演奏した。



渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール

- 徒歩でお越しの方：JR渋谷駅西口から徒歩5分
- バスでお越しの方：
大和田シャトルバス(ハチ公口→文化総合センター大和田)
ハチ公バス(タヤけこやけルート)
※どちらもバス停「渋谷駅ハチ公口」から乗車。次のバス停「文化総合センター大和田」下車。
- お車でお越しのお客様へ
文化総合センター大和田には専用駐車場はございません。
お車でお越しのお客様は周辺の一般コインパーキングをご利用ください。

※曲目・曲順などやむを得ず変更させていただく場合がございます。 ※未就学児の入場はお断りしております。 ※車椅子席をご希望の方は、オフィス諷雅までお問い合わせください。 ※入場の際、およびおよび本番中も含め必ずマスクの着用をお願いいたします。 マスクを着用いただけない場合には、ホールへの入場をお断りさせていただきます。 ホール入口に設置の消毒液による手指消毒にご協力ください。 ※熱のある方(37.5℃以上目安)、頻繁な咳・くしゃみが出る方、その他体調に不安のある方は、ご来場をお控えください。 また来場時に不調のある方、および非接触型体温計による体温確認によって体温の高い方は、入場をお断りさせていただきます。